

# 佐久・金沢病院 移転新築へ

## 来年4月完成 木造3階建て「温かみを」

佐久市岩村田の医療法人三世会金沢病院は、移転・新築する病院の建物を木造3階建てで造る。環境と患者に優しい「温かみのある病院にしたい」との思いから、現在の建物で採用している鉄骨や鉄筋コンクリートではなく、県産材も活用予定の木造にする。関係者によると、同規模病院の木造建築は珍しいといい、国土交通省の事業を活用する。来年4月に現病院の西側にある専用駐車場に完成予定で、16日に地鎮祭を行った。



新しい金沢病院の完成予想図  
(医療法人三世会金沢病院提供)

### 現在の建物 介護施設に活用検討

同病院は1965(昭和40)年に建築後、2度の増築をした。建物が老朽化し、救急車が横付けできるスペースがないなどの不便さもあることから、新築して設備の充実を図る。現在の建物より千平方



工事の安全を願った地鎮祭

近く大きい延べ3900平方メートルの計画。「地域に親しまれ信頼される、専門性も兼ね備えたかかりつけの病院」を目指す。

1階は外来部門を中心と

し、救急対応専門の処置室や手術室などを置く。2階には現状と同じ82床の病室を配置し、新型コロナウイルスも対応できる病室も備える。3階にはリハビリ室などを設け、現在の建物は介護施設として活用を検討している。

金沢政之理事長(70)は「温かみのある、患者さんにとって優しい病院にしたい。設備を充実させて地域医療に貢献したい」と話した。